

真・報連相研修のはじめに

1. この研修の背景

「ほうれんそう」、すなわち「報連相」が「報告、連絡、相談」の愛称であることは、よく知られています。

各社の経営幹部の方々にお会いしますと：

「お客様との連絡ミスで大問題が・・・」

「部下の報告が少なく、連絡ミスも多いし・・・」

「部門間のセクショナリズムを打破するために・・・」

「風通しの良い組織風土をつくるために・・・」

「方針を、もっとよく浸透させたいから・・・」

「協力し合うことにより、個人の力を超えた大きな成果を生み出すために・・・」

「.....のために」、

「報連相」がいかに大事か、何とか報連相をもっとよくしたい、というお話をたびたびお聞きします。そして、社内の、いたるところに、報連相のポスターが貼ってある企業も多いのです。

それほどみんなが知っている「報連相」も、一般的な注意事項は指摘できても、具体的な中身になると、答えられない人が多いのではないのでしょうか。いままで世間一般で、その内容が、漠然としていたからです。その中身をはじめて明らかにしたのが、日本報連相センターの「真・報連相」です。

2. この研修の目的

真・報連相は単なるコミュニケーションではありません。真・報連相は「仕事の進め方」そのものであり、組織として良い仕事をする基盤です。

受講者の皆さんが『仕事の進め方の重要事項』を学び、職場で実践することにより、より良い職場、より良いチームをつくることを通じて、お客様満足の向上につなげる。これがこの研修の目的です。

3. プログラムの概要

◇研修の目的

◇自己と職場の紹介

◇問題意識の共有化

◇真・報連相のレベル表(5段階)を活用して、真・報連相の理解を深める

◇自己育成の行動計画づくり

◇まとめ

4. お願い

◇自分に役立つヒントは、自分でつかむ

◇他の人と協力する

※プログラムは状況により変わることがありますので、あらかじめご了承ください。